

6年生 松村元樹さんとの出会い(6/21)

「100%の自分たちへ ~人権・総合学習以外の日常こそ重要~」



6年生では、反差別・人権研究所みえ「ヒューリアみえ」にお勤めの松村元樹さんに来校いただき、「みんなが安心できる学級」にしていくために、何が必要かを考えました。

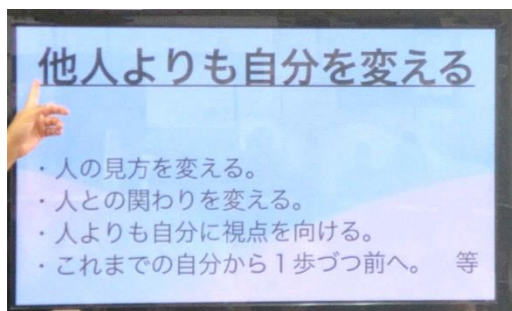
はじめに、多目的トイレから元気そうな人が出てきたら、みんなはどう思うかたずねられました。松村さんからは、見た目は元気そうでも、例えば、その人は人工肛門を装着しているため

に、その処理や装着が必要な方も知れないし、身体の性と自認の性が異なっているために、男性あるいは女性のトイレに入ることにはためらいがある方も知れない。でも、見た目だけではわからないことがあるという話から、「今、隣にいる友だちも、見えていない姿、あるいは、学校では見せていない姿があることを、互いに理解しておくことが必要である。」と話されました。見えることから、得られることやわかることは限られているとも話されました。



そうした話のあと、松村さんから、「みんなは自分のことをどれだけ出してきましたか。どれだけ出せていますか。」と問いかけがありました。

その後、松村さん自身が、「本当の自分を見せないように、ずっと着ぐるみを着て演じてきた」という話や、また、何でも任せておいたら大丈夫と思っていた友だちがいて、自分も含めて、まわりの子は何の悪気もなく、そんなふうにして自分のことを見ていたが、その子が、「本当は、そんなふうに見られることにプレッシャーを感じていた。」と語るのを聞いて、「そんな思いでいることに、松村さんは全然気づいていなかった」といった話も聞かせてもらいました。



最後に、松村さんからは、「隣に本音を出せない子がいたら、その子に本音を出せないようにしていた自分はいなかったか。そんな場面を自分が作ってなかったか。そんなふうにして自分のことを振り返り、見つめられる子になってほしい。」「その子が変わってほしいと思ったら、まわりにいる自分も変わらなアカン。自分の接し方や見方を変えることは大切なこと。」といった話もしていただきました。

人権教育を学ぶ中で、「人に向けている指を、自分に向ける。」ことの大切さを教えてもらってきました。子どもたちには、今回の松村さんとの出会いを、一人一人が自分に指を向け、自らを振り返る、そんな出発点にしてほしいなと思っています。一人一人のそうした営みこそが、誰もが「安心できる学級」へつながっていくと信じています。

「熱中症指数」を測定しています。~保健委員会~

保健委員会の子もたちが、毎日、朝休みと給食前に、右のような「熱中症チェッカー」を用いて、「熱中症指数」と気温を測定し、放送でお知らせしてくれています。みんなが安全に過ごすための大切な指数です。



保健委員会のみなさん、これからもよろしくお願ひします。

なお、先週からは、運動場で遊ぶ時には、必ず赤白帽をかぶらせるようにもしています。月曜日には、体育がない場合も、必ず赤白帽は持たせてください。

暑さ指数	
危険	31~
嚴重警戒	28~31
警戒	25~28
注意	21~25
ほぼ安全	~21



子どもたちと授業をしました。

担任の先生をお願いをして、時々、子どもたちと授業をさせてもらうことがあります。

右の写真は、3年生と「暗算」の授業をさせてもらった時の様子です。

上の写真は、黒板に「お金の教具」を貼って、友だちと一緒に、考えを説明している場面です。下の写真は、黒板に貼られた3人の友だちが考えを書いたプリントを見て、「友だちはどのように考えたのか」を考えるために、前に出てきている場面です。



授業では、自分なりの考えを発表することや、「友だちはどのように考えているのか」を考えさせることを大切にしたいとおもっています。



授業参観・学年懇談のお知らせ

開催日 令和5年7月6日(木)

日程 13:50~14:35 授業参観

14:45 児童一斉下校

14:40~15:40 学年懇談

児童の預かりを希望される方は、6月28日(水)までに、連絡帳あるいは「スマート連絡帳の体調管理のその他」に、「7月6日学年懇談会 子ども預かり希望」と記入・入力をしてお知らせください。「みぶっこ」をご利用のお子さんは、「みぶっこ」での預かりをお願いします。